

<p>△産業宣教：237 と第 1、2、3、RUTC の答え 24 時空超越の答え(創 1:1)</p>	<p>△核心訓練 神はキリスト者を用いない。ただ、キリスト者を用いる。(使 1:1、3、8)</p>	<p>△レムナント伝道学：伝道者の生活と第 1、2、3RUTC の答え 24 レムナントの知性(詩 78:70-72)</p>	<p>△散らされた弟子たち/237、5000 を生かす第 1、2、3RUTC の答え 24 タラッパンの始まり(使 2:1-13)</p>
<p>時空超越の答えがなければ世界福音化できない。 □序論_時空超越の戦争=祈り 1.奪われた状態 1)強大国一奴隷制度 2)3 団体一気功運動 3) 5000 種族一呪術 2. RT7 創 41:38 ヨセフが持った力 1サム 17:1-47 ゴリヤテに勝つことで時空超越の働きを起こしたダビデ 3. 伝道運動、宣教運動の key の時空超越の中にいた産業人(重職者) 1)ヨケベデ、イテロ、ラハブ 2)ハンナ、エッサイ 3)オバデヤ 4)ダニエル、同僚 5)ロマ 16 章 △祈りを本当に知っている人が牧師のそばにいるなら、ものすごい武器になる。 □本論_最後の宿題 1. 三位一体の神様(働き) -目に見えないように時空超越する正確な働きをしておられる。 1)創造 2)救い 3)力 2. みことば一御座-みことばで時空超越する神様が御座の祝福で働かれる 私一御座化 プラットフォーム一私を御座化するとき、時空超越と 237 が出てくる見張り場-御座の祝福(創 1:27 いのち、創 2:7 いのちの息、創 2:17-18 生活の中に)が出てくる。 アンテナー私、教会、職業に空前絶後のことが行われる。 1)創 12:1-3 これが(四角)みな含まれている。アブラハムが悟ってから働きが起こった。 2)出 3:18-20 力ある御手であなたとともにいるしるしで、わたしがイスラエルの民を連れ出す。 3)詩 103:20-22 これを実際に分かるならば礼拝はものすごいことなのだ。 4)イザ 40:1-31 永遠のみことば(8)、偶像は神様でない(18)、主を待ち望む者(31) 3. 祈り一伝道弟子は祈りで時空超越する。 3 時代一過去、今日、未来。教会者と重職者と Remnant。70 人弟子が 70 現場と 70 か国を生かすことができる。 1)マタ 28:16-20 「あらゆる国の人々に行きなさい」「天と地のすべての権威を持つわたしがあなたといつともともにいる」 2)マコ 16:15-20 「すべての造られた者に行きなさい」「御座につかれた主が彼らとともに働かれた」 3)使 1:3, 8 時空超越の最もキー(key)が「神の国とそのこと」違うことでは不可能だ。「ただ聖霊があなたの方の上に臨めば」その時から「地の果てまで証人となります」 □結論 1. その時刻表の中にいる人 2. 神様が定めておかれたその働き 3. 神様が備えられたその場所で △時代を見る目だけ開かれれば神様が注ぎ込まれるようになっている</p>	<p>私たちの地域と南米を福音化する道-ただキリストで、できる。 □序論_三つの待つこと 1. <u>祈り</u>-考え x、心配 x 「離れずに」一考え、心配をせずに祈りながら待ちなさい。 <u>御座の祝福</u>-これが臨むように祈っていればいくつかが見える。 1)絶対主権-「神様が私にこれをしなさいと言われるのだな」 2)絶対計画 3)絶対契約 4)絶対旅程 5)絶対目標 2. <u>ともに</u>「聖霊の満たし」 <u>力</u>-「力を受けて」これが見える。 ただ福音 <u>生かすこと</u>-神様はその人を用いられる。この力が来るように待つのだ。 3. <u>証人(証人)</u>「証人」一証人になると言われたから証人を待つのだ。 <u>わたしの証人</u>-「エルサレム、ユダヤ、サマリヤ、地の果てまで、わたしの証人になります」 1)私の証人 x(キリストの証人) 2)時刻表-「エルサレム、ユダヤ、サマリヤ、地の果て」 △宣教大会-カルバリの丘、オリブ山、マルコの屋上の間の契約を完全に回復する時間 3)見える地の果て-私にあった苦しみが地の果てだ。 □本論_三つの答え(味わい一伝達) 1. 使 1:1 ただ福音-<u>隠れた変化、隠れた運命</u> (隠れた運命をひっくり返すために伝道、宣教しなさいと言われたこと) △みなさんに問題が何か。私の考えをしてはならない。「神様の計画は何ですか」(序論 1)「ただ福音で生かすことが何ですか」すると、神様の力が現れる(序論 2)。このとき「私は家を生かす証人だ」(序論 3)答えを出す感謝が出てくる。 1)新しい被造物(IIコリ 5:17) 2)みなさんを通して暗やみを縛る。 3)いまは新しい始まりだ。 2. 使 1:3 御国-<u>隠れた器、隠れた身分</u> 1)主人 2)運命 3)身分を変える日 3. 使 1:8 ただ聖霊-<u>隠れた権威</u>(最後の時代、混乱の時代に勝つ道) △キリストとしてあかしされたその方が(使 1:1)説明して(使 1:3)約束されたこと(使 1:8)を確実に多民族に伝達しなければならない。 1)理由一神様のみことばの前に理由はない。理由を分かるから。本当の理由が残っているから。 2)権威-上から与えられること 3)時空超越一「地の果てまで」 □結論_黙 8:3-5 -天使 正しい祈りは神様の祭壇の前にずっと積み重なって、神様が引き続き天使にお使いをするようにされる。この(本論)の答えが継続的に来る。宣教大会重要だから、契約を握って祈り始めるのだ。</p>	<p>△霊性から出る知性、ダビデは霊性と知性を兼備 □序論 1. 天才性-誰にでもある。両親、学校が自分のこととえようとする。 2. 天の天才性(エペ 2:2、エペ 6:12)一サタンに奪われている、3 団体がみな持っている 3. 御座の天才性-神様が絶対的に準備された Remnant のこと □本論_どんな旅程を行かなければならないのか 1. 始まり-<u>御座一私の中に一私を御座化</u> △この御座の力と祝福を私の中に! 祈り、一日、人生の始まり 1)創 1:1 -私の中にみことばで 2)創 1:3-光で 3)創 1:27 -私のたましいを生かすこと 4)創 1:28 -私のすべての生活の中に働き 2. 過程-<u>御座一現場、生活一現場御座化</u> △この御座のことが私が行く所、現場、生活に臨むように、感動、満たされれば現場が御座化 3. 実-<u>御座一伝達一学業、職業の御座化</u> △ここにより実が。御座の祝福、力が伝達され、すると学業、職業、産業が御座化 1)イザ 6:13 切り株一芽 2)ヘブ 11:1-38 ヘブル人への手紙の証人 3)使 17:1、18:4、19:8 パウル-会堂に □結論 1. 正常ではない(特別)一正常ではない人に特別な天才性が隠されている。 2. 今日一未来-今日の小さいことが人生を変えて未来となる。 3. 霊的器一答えがなくても今日味わって霊的大きい器準備</p>	<p>□序論_タラッパンの意味 -真の弟子だけ来ること 1. キリストが終わらせられたこと一今から始まりであること 2. キリストでただ、唯一性、再創造をもって行くべき 3. 光を照らす見張り場、多くの人々がくるように旗を差すこと △キリスト、神の国最後の講壇、マルコの屋上の間で何したかを知らせるべき □本論 1. タラッパンする以前 1)変えること一偽(マタ 5-7 章) 2)捨てること一肉(マタ 13 章) 3)味わうこと-三つの祝福(マタ 16 章) 4)使徒(マタ 10 章) 5) 70 人(ルカ 10 章) ] 現場を生かす確実なミッション 6)カルバリの丘-すべてを終わらせたこと 7)オリブ山一呼ばれる 2. タラッパン持続-神様の働きを継続すること 1)五旬節一三つの祭り(使 2:1-13) 2)使 2:9-11 チームの働きをする人を見つけること 3)使 2:41-42 各家でミッションホームが起るように 4)使 2:43-45 現場で起きた専門家 5)使 2:46-47 毎日現場で毎日家で 3. 伝道するタラッパン 1)使 2:41 3 千弟子 2)使 3:1-12 伝道しようと見ていて時刻表がきてしたこと 3)使 4:1-5 数千人の弟子 □結論_真の弟子の目標-ロマ 16:25-27 その弟子が「神様が私を救って福音運動をするようにされるのだな」(私の福音、ロマ 16:25-27)を悟らなければならない。</p>

△区域メッセージ 残りの者、巡礼者、征服者が味わった私の 24(使 1:14)	△聖日 1 部礼拝 試みる者らの質問(マタ 19:3-12)	△聖日 2 部礼拝/大邱ハナ教会 237 礼拝 237 か国を見た人々(使 1:8)
<p>霊的世界 <span style="float: right;">実</span></p> <p>聖日(使 2:17-18、未来)、本部(方向)、祈り手帳(道しるべ)、区域(点検、確認)、核心(整理)</p> <p>△聖日には深い祈りの中で使 2:17-18 が出てきて、本部集会を通じて方向、祈りの手帳を開けば道しるべ、区域メッセージを通じて点検および確認すれば、土曜核心で一週間のメッセージが整理される。この部分は目に見えない霊的世界にしたがって答えという実で来る。</p> <p>□序論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>残りの者(私の福音) - いくら残っていても、私の福音を分かなければ残りの者の価値がない</li> <li>巡礼者(祈り-御国) - 巡礼者は祈りを知っている人、考えを越えた祈り、神の国はものすごいこと</li> <li>征服者(暗やみ戦争) - 伝道を知っていること、暗やみとの戦いを知っていること</li> </ol> <p>□本論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>残りの者-みことばを中心にした祈り       <ol style="list-style-type: none"> <li>福音価値を知っている人</li> <li>御座の祝福を知っている人</li> <li>神様の計画を発見した人</li> </ol> </li> <li>巡礼者-超越祈り       <ol style="list-style-type: none"> <li>サタンの国-目に見えないサタンの国に勝つことができるべき</li> <li>絶対条件-神様の絶対条件を知っている、どんな状況でも大丈夫だ。</li> <li>感謝-聖霊の働き、多くの巡礼者の道を行く歩みの中で感謝と聖霊の働きを体験</li> </ol> </li> <li>征服者-サタンをひざまずくようにする祈りが征服者だ。       <ol style="list-style-type: none"> <li>絶対目標-暗やみを打ち砕く絶対目標を持っている。</li> <li>見張り人、医者、大使-見張り人、霊的医者、霊的なキリストを代わりに説明する大使</li> <li>空前絶後-個人と教会の働きと事業に必ず空前絶後の答えが来る</li> </ol> </li> </ol> <p>□結論_答えは大きく三つある。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>100 年の答えを受けられなければ世界福音化できない。</li> <li>Remnant 7 人と重職者は 1000 年の答えを残した。</li> <li>結局は、その答えはなくならない。永遠の答えだ。</li> </ol> <p>△それで、この三つ、残りの者の価値が何か、巡礼者がどんな祈りを捧げているのか、征服者は何をするのか分かれば、そのような答えが来る。全くできない状況であったのに、神様の計画は必ず答えが来る。</p>	<p>イエス様が 3 年間 120 人を目標に、すべてを教える行かれようとしたのだ。なぜ神様が私たちに苦しみを与えられるのか。</p> <p>□序論_苦しみという仮面をかぶって真の答えは来るのだ。霊的な目が暗い人、福音が分からなければ分からない。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>そのようにされる理由-にせ物のため、目の前の利益だけ追いかけて行くので、苦しみということをもって真の真理を伝達された</li> <li>間違った質問だけ継続するパリサイ人-信仰生活しながら人の声を聞いてはならない。</li> <li>私たちだけでも神様のみことば聞いて神様のみことばついて行く教会になろう。</li> </ol> <p>□本論_120 人の初代教会の信徒はどのように世界を福音化したのか</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「三位一体の神様と御座の力と神の国」根本的な契約を握るときから、働きが始まる。       <ol style="list-style-type: none"> <li>イエス様が教えられたただ一つ-神の国(マタ 5:3、6:10、6:33、10:7、12:28-29、使 1:3)</li> <li>私たちがしなければならぬ祈り-「三位一体の神様が私に臨んでください。御座の祝福が私に臨みますように。この契約を伝達しますように」</li> <li>来る答え-祈りを悟り、霊的な変化、根本(運命)変化、世界を変える力</li> </ol> </li> <li>霊的なことを選択するたびに 100 年の答えが来る       <ol style="list-style-type: none"> <li>悪い心を持って肉的な質問を継続するパリサイ人とイエス様の教え(8-12 節)</li> <li>100 年の答えを与えられる理由は世界福音化のため-イサク</li> <li>ヨセフが選択した霊的なことと 100 年の答え-奴隷(世界福音化の最も確実な道)、監獄(本当に政治家に会う最も良い道)、王の前で(神様が王の夢を解釈することができる)と告白)</li> </ol> </li> <li>未来を見るとき 1000 年の答えが来る       <ol style="list-style-type: none"> <li>ご自分のところに来た子どもたちを祝福して按手されたイエス様(13-15 節)</li> <li>モーセを助けたイテロ長老</li> <li>ダビデに油を注いで契約を伝達したサムエル</li> </ol> </li> </ol> <p>□結論_祈るとき永遠の答えが来る。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>奴隷として売られて行ったとき祈りを始めたヨセフ</li> <li>サウル王に追われたとき、すべてを祈りに変えたダビデ</li> <li>初代教会、パウロ</li> </ol> <p>△「神様、私の生涯に真の答えを受けますように。御座の答えを私に与えてください。肉を生かす霊的世界へ行かなければならぬから、霊的な答えを私に与えてください。これからとても困難な時代が来るために子孫、次世代を生かす祝福を私に与えてください」</p> <p>△私-福音を分ける残りの者、祈りを分ける巡礼者、伝道を分ける征服者</p> <p>今週にする祈り-「残っている時刻表の中で私がしなければならない最も大切なのは何か」</p>	<p>△神様は新しい時代をずっと開いておられることを見る事ができれば、高齢でも用いられる。237 か国を見る事ができれば、次世代は奴隷で、237 か国を見た人は奴隷になった民を解放させる。</p> <p>□序論_</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Nobody 人がいないこと</li> <li>Nothing 何も存在自体がないこと</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>誰も見られないこと-初代教会では誰も見られないことを見た。       <ul style="list-style-type: none"> <li>オリープ山</li> <li>カルバリの丘 → <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">237 か国を見た人</span> → マルコの屋上の間           <ol style="list-style-type: none"> <li>強大国滅亡</li> <li>イスラエルの滅亡</li> <li>次世代滅亡</li> </ol> </li> </ul> </li> <li>誰もできないこと       <ol style="list-style-type: none"> <li>強大国-サタンの奴隷</li> <li>弱小国-奴隷</li> <li>イスラエル-おしい</li> </ol> </li> <li>誰も止めることができないこと       <ol style="list-style-type: none"> <li>奴隷</li> <li>捕虜</li> <li>属国</li> <li>流浪民</li> </ol> </li> </ol> <p>△契約を持つ Remnant が入って、これをもって世界福音化をする。私たちが 237 に関心がないから次世代を奴隷、捕虜、属国、流浪民として送らなければならない</p> <p>□本論_</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Everybody すべての人を生かす戦略を使うということ</li> <li>Everything 何もない私たちを呼んですべてがなるようにすること</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>復活されたキリスト(使 1:1) 絶対答え       <ol style="list-style-type: none"> <li>創造を成し遂げる三位一体の神様!</li> <li>みことばで救いを成し遂げるイエス・キリスト!</li> <li>神様の力で現れる聖霊の働き!</li> </ol> </li> <li>神の国(使 1:3)       <p>御座の祝福-これで行ければ世界福音化できない。職業が 237 の祝福を受けてこそ世界福音化する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「神の国のこと」これを握ったこと</li> <li>そのとき、その所に</li> <li>集中-刻印、根、体質させたこと</li> </ol> </li> <li>ただ聖霊(使 1:8) - 本当に世界を生かすには、ただ聖霊でなければ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">3 時代</span> <ol style="list-style-type: none"> <li>過去、今日、未来を神様の力の御手によって変えるべき</li> <li>私、教会、現場につまらないことせずに神の国が臨むべき</li> <li>牧会者、重職者、Remnant は御座の祝福を味わうワンネスになるべき</li> </ol> </li> </ol> <p>□結論</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>超越祭、その日(五旬節)、仮庵祭 → その日が来たのだ。       <ol style="list-style-type: none"> <li>使 1:6-7(問題) - 使 1:6-7(問題) - 教会で世の中、人を話すとき違ふ。「しかし(ただ)聖霊があなたがたの上に臨めば」何が問題なのか指摘する</li> <li>使 1:8(順序) - 「エルサレムとユダヤとサマリヤ」神殿があるエルサレムから働きが起きて、敵でもないが敵になったサマリヤ、地の果てまで証人になると言われた</li> </ol> </li> <li><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">道</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">三位一体-御座化</span> <p>→ この祝福を味わって行けば道が見える。三位一体の神様と、この御座が私たちに現れる。この契約を正確に握っているこの時間に、神様は主の使い、(御使い)、軍勢、天の軍勢)を送られる</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ヒゼキヤ王</li> <li>ダニエル</li> <li>ダビデ</li> <li>初代教会重職者</li> <li>暴風に会ったパウロ</li> </ol> </li> </ol>